

Makita

取扱説明書

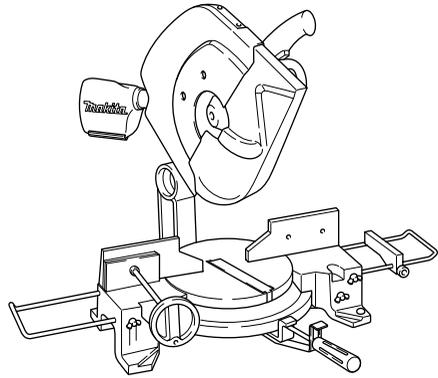
380mm 卓上マルノコ



モデル

LS1510

(ノコ刃別販売・ブレーキ付)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。

マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは **380mm 卓上マルノコ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



主要機能

モデル	LS1510	
主要機能	直巻整流子電動機	
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100V	
電流	14A	
周波数	50-60Hz	
消費電力	1,340W	
回転数	3,200min ⁻¹ (回転 / 分)	
刃物寸法 (使用できるノコ刃)	外径 φ 350 ~ 380mm 内径 φ 25、25.4mm	
切断能力 (高さ×幅 : mm) 注) ※印は当て木を使用した場合	ノコ刃傾斜 角度	0 度
	ターン ベース角度	0 度
	0 度	122 × 185 (※ 150 × 80mm)
	45 度	122 × 137 (※ 150 × 57mm)
	左右 57 度	122 × 110 (※ 150 × 45mm)
ターンベース回転角度範囲	左右 0 度 ~ 57 度	
本機寸法	長さ 678mm × 幅 590mm × 高さ 720mm	
質量	23kg	

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告**・**⚠ 注意**・**注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意**・**注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-17

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警告

9. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音用保護具を着用してください。
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。
13. 材料を加工する工具では、材料をしっかり固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

卓上マルノコ安全上のご注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、卓上マルノコとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB038-3

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全カバーは絶対に固定したり取り外したりしないでください。また、円滑に動く事を確認してください。
 - ・ ノコ刃が露出したままですとけがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
4. 切断する材料は、バイスで確実に固定して作業してください。
 - ・ 確実に固定していないと、けがの原因になります。
5. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
 - ・ このような台がないとけがの原因になります。
6. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
7. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
8. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
9. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
 - ・ 不安定な状態だと、けがの原因になります。
2. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、機体の振動やノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるとけがの原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
 - ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
9. 回転するノコ刃で、コードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 切断砥石を取り付けて使用しないでください。

注

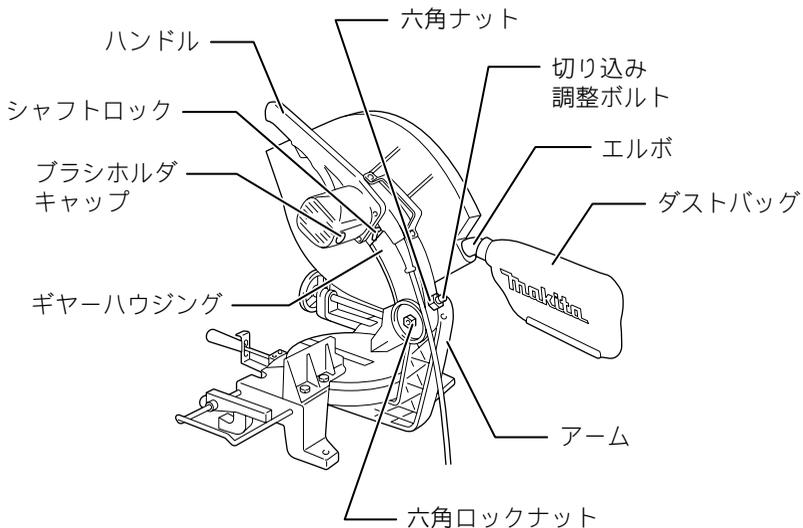
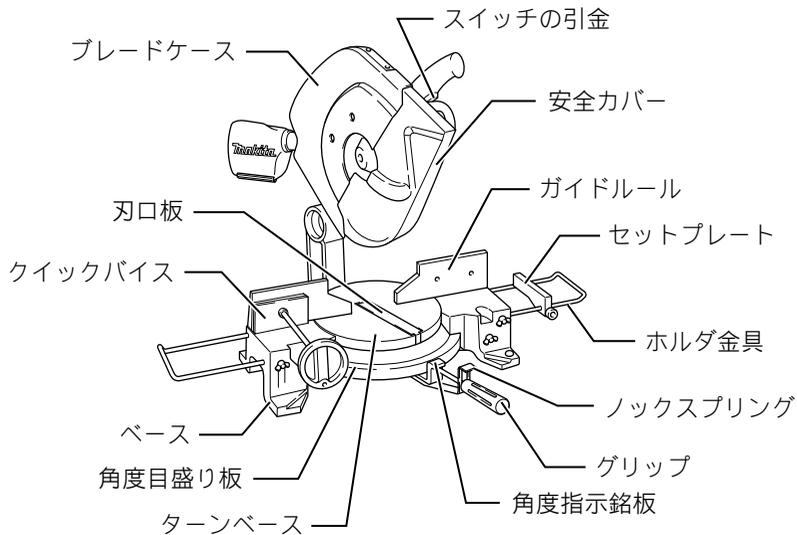
- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の効率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.0mm ²	50m	30m	20m

- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ ダストバッグ
- ・ ボックスレンチ 13
- ・ よこバイス
- ・ セットプレート
- ・ リング
(内径 ϕ 25mm ノコ刃用)

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ノコ刃

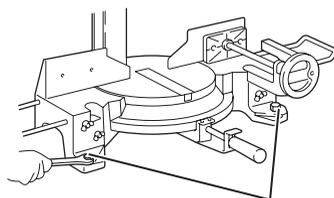
種 類	用 途	部品番号	寸法 (mm)	
			外径	刃数
チップソー	木工・アルミ用	A-01878	380	110
	アルミ用	A-01943		100
	木工用	A-05957	380	120

- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
部品番号 191686-2
- ・ ホルダ金具組立品
ホルダアッセンブリ 部品番号 134545-7
ロッド 部品番号 256812-1
長尺材、幅広材の切断に便利です。

使い方

本機の設定

- ・ 傾斜のない平坦な場所にベースの穴を利用して4本のボルトで本機を固定してください。



ボルト

ノコ刃の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

ノコ刃の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

ノコ刃を取り付けるときは、本機に付いている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

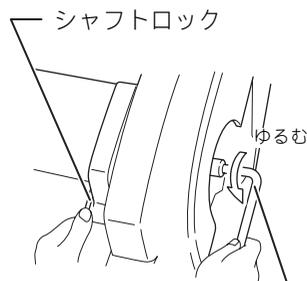
- ・ 矢印に合わせないとノコ刃の回転方向が逆回転となり、刃先を痛めたり、けがの原因になります。

ノコ刃の着脱は付属のボックスレンチ以外の工具は使わないでください。

- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

取りはずし方

- ・ ノコ刃を締め付けている六角ボルトにボックスレンチを差し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを左方向に回してボルトをゆるめ、六角ボルトと外側のフランジ、ノコ刃をはずしてください。

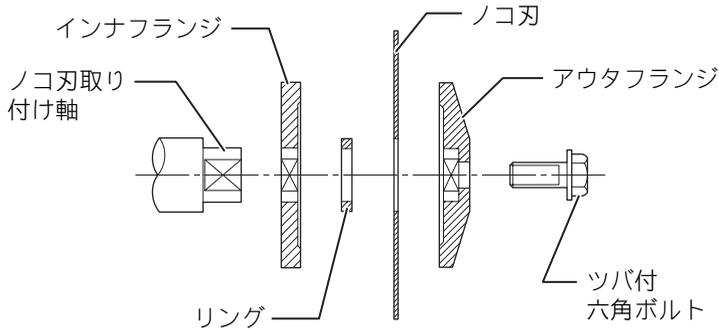


ボックスレンチ

使い方

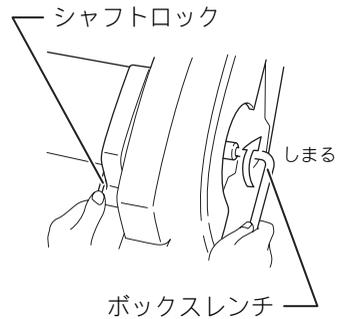
取り付け方

- ・ ブレードケースの矢印とノコ刃の回転方向を合わせて、ノコ刃をリングにはめてください。



(本機取り付けは外径 $\phi 25.4\text{mm}$
標準付属品は外径 $\phi 25\text{mm}$)

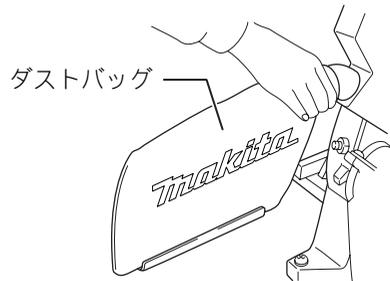
- ・ 外側のフランジと六角ボルトを取り付け、六角ボルトにボックスレンチを差し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを右方向に回して、六角ボルトをしっかりと締め付けてください。



使い方

ダストバッグ

- ・ ブレードケースの円筒部にダストバッグの口元を差し込んで右に回して固定してください。はずすときはダストバッグの口元を左に回してください。



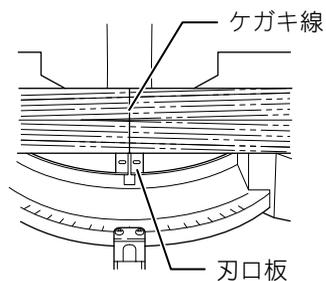
- ・ ダストバッグは早めに掃除してください。
- ・ 掃除するときは、ダストバッグを取りはずしファスナを引き抜き、中の切り屑を捨ててください。ダストバッグは、口元を回しながら引き抜くと外し易くなります。
- ・ ダストバッグの代わりに、当社集じん機を使用していただきますと、より一層衛生的な作業ができます。



使い方

刃口板

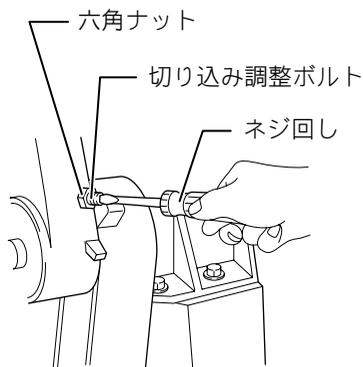
- 本機には、刃口板が取り付けられています。ノコ刃を本機に取り付け、刃口板をゆっくりと切り込んでください。切り込みによってできた溝の一端と材料のケガキ線を合わせて切断しますと正確に切断できます。



使い方

ノコ刃の上下位置決め調整

- ・ 本機は外径 380mm のノコ刃を基準にして切り込み深さを調整してあります。380mm 以外のものを使用するときは、次の手順で調整してください。
- ・ ギヤーハウジングの先端部にある六角ナットをゆるめ、ハンドルを下げながら切り込み調整ボルトをお手持ちのネジ回しで回してください。調整ボルトを右方向に回すとき切り込み深さは浅くなります。



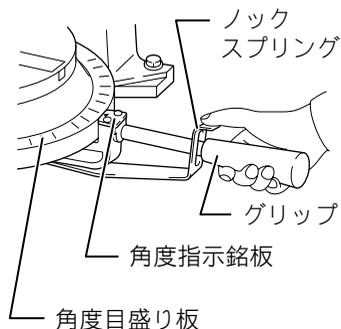
- ・ ハンドルを一杯に下げたとき、ノコ刃がターンベースにあたらない位置に調整してください。
- ・ 調整後はゆるめた六角ナットをしっかり締め付けてください。



使い方

切断角度の位置決め方法

- ・ グリップを左に回してノックスプリングを指で押してターンベースを回転させてください。
- ・ 角度指示銘板の矢印を角度目盛り板の希望角度に合わせ、ノックスプリングを離し、グリップを右に回してターンベースをしっかりと固定してください。
- ・ 0° 、 15° 、 22.5° 、 30° 、 45° の角度にするときは、ノックスプリングをその角度の近くで離し、ターンベースをわずかに回すとノックスプリングにより位置決めができます。

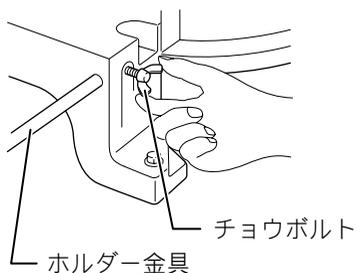


注

- ・ 角度を変えた後はターンベースが動かないようにグリップでしっかり固定してください。
- ・ 切断角度を変えるときは、ハンドル部が上がった状態で行ってください。

ホルダー金具の取り付け方

- ・ ホルダー金具は材料を安定させるものです。
ベースの左右に取り付け、チョウボルトで固定してください。



使い方

切断材料の固定

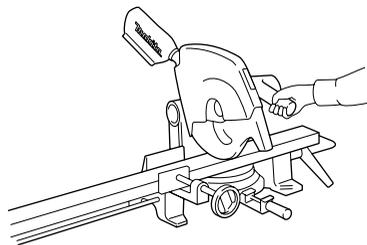
⚠ 注意

材料の固定は確実に行ってください。

- ・ 材料の固定が不十分な場合、材料が飛ばされけがの原因になります。

- ・ 切断材料はバイスで確実に固定してください。

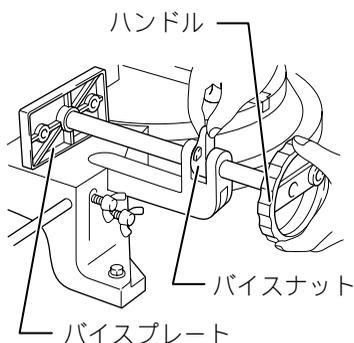
長尺材の切断には、別販売品のホルダ金具組立品を必ず使用して材料を水平にし、バイスでしっかり固定してください。



- ・ 本機にはクイックバイスが取り付けられています。

バイスのハンドルを左方向に回すとバイスがゆるみ、バイスナットを左側に倒しハンドルを前後に動かすと自由に移動します。

材料を固定するときは、ハンドルを押してバイスプレートを材料に当てバイスナットを右側に倒してハンドルを右に回してください。



- ・ バイスはベースの左右どちらにも取り付けることができます。作業のしやすい側に取り付けて固定してください。

バイス取り付けの際は、チョウボルトでしっかり固定してください。

注

- ・ 30°以上の角度で角度切りをする場合、安全カバーがバイスに当たることがあります。この場合は、バイスを安全カバーと反対側の位置に移してご使用ください。

使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。

切断方法

⚠ 警告

必ずノコ刃が完全に停止してからハンドルを上げてください。

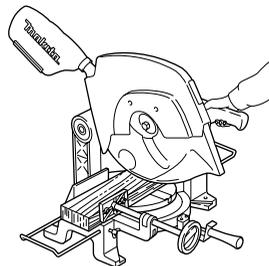
- ・ 切り落とし側の材料がノコ刃に巻き込まれ飛散し、けがの原因になります。

⚠ 注意

無理にハンドルを押えついたり、左右に強い力を加えないでください。

- ・ モーターに無理がかかるばかりでなく本機に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

- ・ 切断角度を設定した後、材料をターンベースに密着させ材料の切断位置を合わせてください。
- ・ ハンドルをしっかりと握りノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れ、ノコ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルを軽く押え、静かに降ろして切断してください。
- ・ 材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げてください。



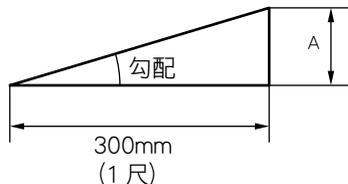
使い方

角度切り

- ・ グリップをゆるめ、ターンベースを回し、角度目盛と角度指示銘板の矢印を合わせグリップを締め付けてください。

角度目盛板の勾配目盛について

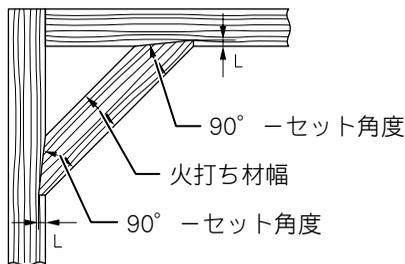
- ・ 角度目盛板には0～5.7°の度数目盛と0～9寸の寸目盛が表示してあります。図のAが120mm（4寸）のときは、4寸の目盛に合わせて切断すると、切断角度が4寸勾配になります。



火打ち材の切断

- ・ 火打ち材の切断をする場合は、下表を参考に切断角度を設定してください。
- ・ 下の表は火打ち材幅に対する切断角度を表しています。

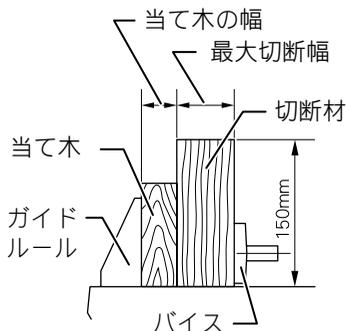
火打ち材幅	セット角度	L
90mm (3寸)	51.7°	15mm (5分)
105mm (3寸5分)	50.7°	
120mm (4寸)	50°	



幅広材の切断

- ・ ガイドルールと材料の間に当て木を使用しますと最大150mmまでの高さの材料が切断できます。
- ・ 当て木と材料の幅は下表の通りです。

切断角度	当て木の幅	最大切断幅	最大高さ
90°	38mm	80mm	150mm
45°	34mm	57mm	
57°	32mm	45mm	

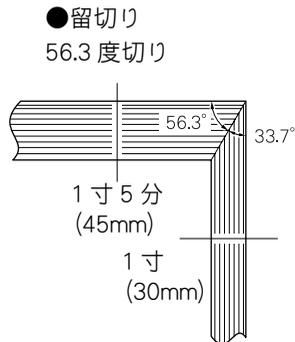


使い方

- ・ 当て木を利用した留切り加工の一例を示します。

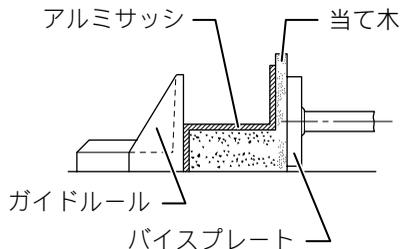
留切り加工角度

材料幅	セット角度	当て木の幅
45mm (1寸5分)	33.7°	33mm
30mm (1寸)	56.3°	31mm



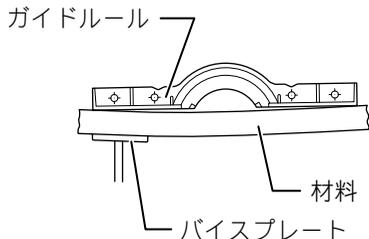
変形しやすい材料の切断

- ・ アルミサッシなどの材料の変形しやすいものは、当て木をはさんで材料が変形しないようにバイスで締め付けてください。当て木を使用することにより無理なく切断することができます。

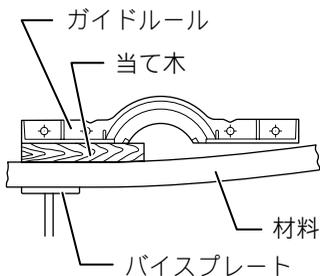


- ・ 材料にそりがある場合、また形状が凹凸の場合。

× 危険な締め付け方



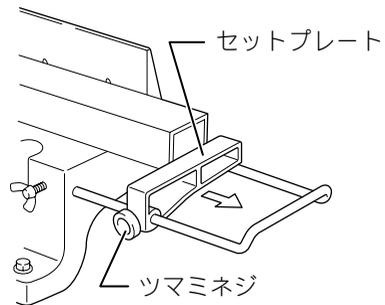
○ 良い締め付け方



使い方

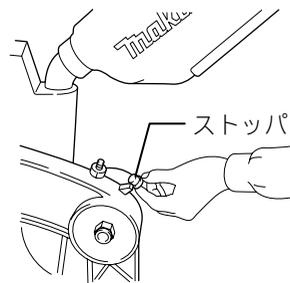
定寸切断

- ・ 材料を 290 ～ 460mm の長さを繰返し定寸切断されるときは、ホルダ金具にセットプレートを取り付け、ご希望の切断寸法にセットプレートを合わせてツマミネジで固定してください。
- ・ 材料を定寸切断しないときは、ツマミネジをゆるめてセットプレートを手前へ倒してください。



本機の持ち運び

- ・ 本機を運搬するときはハンドルを一番下へ降ろして、アーム部のストoppaを倒しグリップでターンベースをしっかりと固定してください。



⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

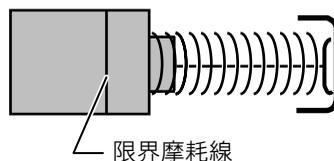
安全カバーの動作点検と整備

- ・ 安全カバーは、ハンドルを下げると、自動的に上がり、切り終わってハンドルを戻すと、もとに戻ります。この安全カバーの動作が不完全なまま使用したり、故意に任意の位置で固定して使用することは法令により禁止されています。あなたの安全を守るためにも正常な状態で使用してください。動作が異常なときは速やかに修理に出してください。
- ・ 安全カバーに切り粉などが付着してノコ刃先が見にくくなったときは湿った布で切り粉などを拭き取ってください。



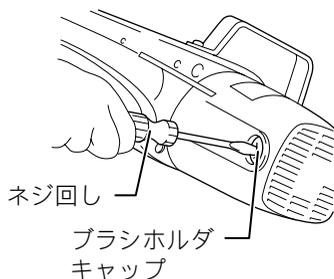
カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩擦したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。



保守・点検について

- ・ ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず両側とも同時に行なってください。

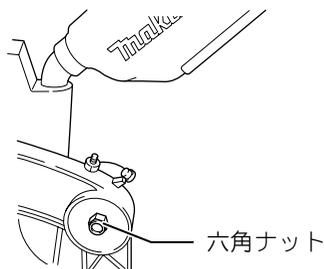


注

- ・ 新品と交換の際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。指定以外のカーボンブラシを使用するとブレーキがかからないことがあります。

ハンドルのヒンジ部調整

- ・ 本体が滑らかに上下し、かつ切断時のベースとノコ刃の直角精度を得るために支点部の締め付けが調整されています。
- ・ 再調整をするときは、どの位置からハンドルを離しても本体が元の位置へ戻るよう六角ナットで調整してください。



本機の整備

- ・ 作業後は、切り粉などを払い本機の作動部分にマシン油を塗って錆びないようにしてください。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらなくて、必ずお買い上げ販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	東京支店	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771
札幌営業所	(011) (783) 8141	東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪営業所	(06) (6351) 8771
旭川営業所	(0166) (29) 0960	中野営業所	(03) (3337) 8431	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
釧路営業所	(0154) (37) 4849	足立営業所	(03) (3899) 5855	関西物流センター	(0725) (46) 6715
函館営業所	(0138) (49) 9273	大田営業所	(03) (3763) 7553	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	奈良営業所	(0742) (61) 6484
帯広営業所	(0155) (36) 3833	多摩営業所	(042) (384) 8411	榎原営業所	(0744) (22) 2061
北見営業所	(0157) (26) 9011	立川営業所	(042) (542) 1201	和歌山営業所	(073) (471) 4585
仙台支店	(022) (284) 3201	横浜支店	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
仙台営業所	(022) (284) 3201	横浜営業所	(045) (472) 4711	沖縄営業所	(098) (874) 1222
古川営業所	(0229) (24) 0698	川崎営業所	(044) (811) 6167	兵庫支店	(0794) (82) 7411
青森営業所	(017) (764) 4466	平塚営業所	(0463) (54) 3914	三木営業所	(0794) (82) 7411
八戸営業所	(0178) (43) 3321	相模原営業所	(042) (757) 2501	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
盛岡営業所	(019) (635) 6221	湘南営業所	(0466) (87) 4001	神戸営業所	(078) (672) 6121
水沢営業所	(0197) (22) 5101	静岡支店	(054) (281) 1555	姫路営業所	(079) (281) 0204
郡山営業所	(024) (932) 0218	静岡営業所	(054) (281) 1555	広島支店	(082) (293) 2231
いわき営業所	(0246) (23) 6061	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島営業所	(082) (293) 2231
福島営業所	(0243) (22) 1204	浜松営業所	(053) (464) 3016	福山営業所	(084) (923) 0960
新潟支店	(025) (247) 5356	甲府営業所	(055) (276) 7212	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟営業所	(025) (247) 5356	金沢支店	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
長岡営業所	(0258) (30) 5530	金沢営業所	(076) (249) 5701	宇部営業所	(0836) (31) 4345
山形営業所	(023) (643) 5225	七尾営業所	(0767) (52) 3533	徳山営業所	(0834) (21) 5583
酒田営業所	(0234) (26) 3551	富山営業所	(076) (451) 6260	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
秋田営業所	(018) (863) 5205	高岡営業所	(0766) (21) 3177	松江営業所	(0852) (21) 0538
宇都宮支店	(028) (634) 5295	福井営業所	(0776) (35) 1911	高松支店	(087) (867) 6411
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (867) 6411
小山営業所	(0285) (25) 5559	岐阜営業所	(058) (274) 1315	徳島営業所	(088) (626) 0555
水戸営業所	(029) (248) 2033	多治見営業所	(0572) (22) 4921	松山営業所	(089) (931) 7666
土浦営業所	(029) (821) 6086	松本営業所	(0263) (85) 4751	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
関東物流センター	(048) (771) 3451	長野営業所	(026) (225) 1022	高知営業所	(088) (884) 7811
埼玉支店	(048) (777) 4801	上田営業所	(0268) (22) 6362	福岡支店	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡営業所	(092) (411) 9201
川越営業所	(049) (222) 2512	名古屋支店	(052) (419) 0561	福岡営業所	(093) (551) 3481
熊谷営業所	(048) (521) 4647	名古屋営業所	(052) (419) 0561	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
越谷営業所	(048) (976) 6155	一宮営業所	(0586) (75) 5382	久留米営業所	(0942) (43) 2441
前橋営業所	(027) (232) 5575	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
高崎営業所	(027) (365) 3688	知多営業所	(0569) (48) 8470	長崎営業所	(095) (882) 6112
岡毛営業所	(0276) (46) 7661	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
千葉支店	(043) (231) 5521	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	四日市営業所	(059) (351) 0727	熊本営業所	(096) (389) 4300
市川営業所	(047) (328) 1554	津営業所	(059) (232) 2446	八代営業所	(0965) (43) 1000
成田営業所	(0476) (73) 8101	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	大分営業所	(097) (567) 3320
木更津営業所	(0438) (23) 2908	京都支店	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
柏営業所	(04) (7175) 0411	京都営業所	(075) (621) 1135	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
		福知山営業所	(0773) (23) 7733	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
		大津営業所	(077) (545) 5594		
		彦根営業所	(0749) (22) 6184		

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881486G5